

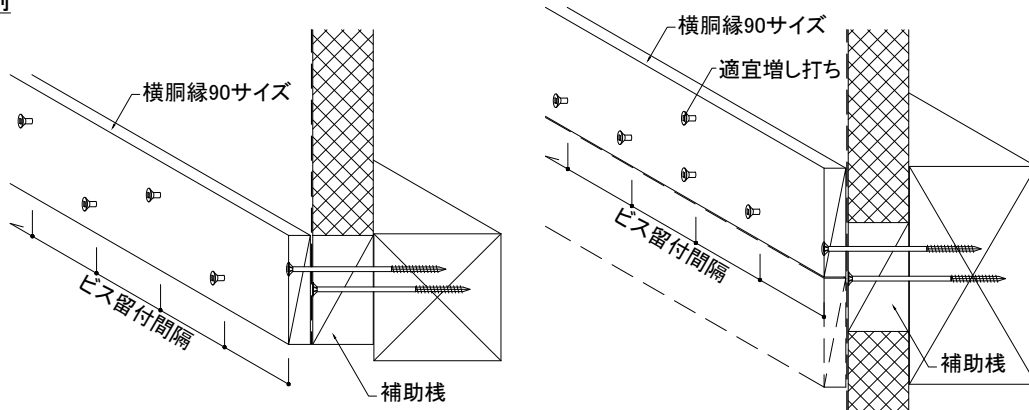
外張り断熱工法

断熱厚50mm超～100mm以下
横胴縁 限定基準

1-9 横胴縁仕様 各部の規定

- ⑤90mm幅の胴縁を施工する場合において、胴縁の片側が大きく反ったり傾いてしまう場合は、適宜ビスを千鳥打ちまたは増し打ちをするなどして対応してください。

対応例

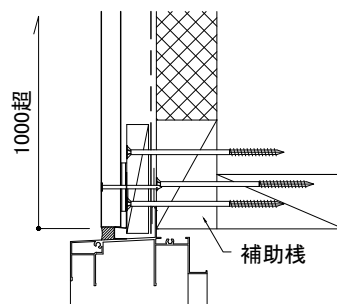
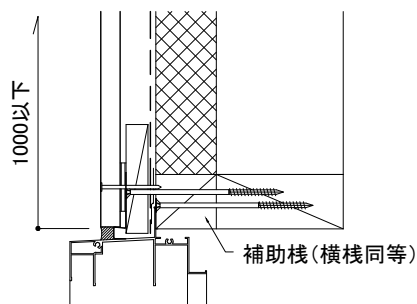


- ⑥断熱材50超～75mm以下の場合:

サッシ上部の補助棧寸法およびビス留付間隔は、支持するモエンの長さが1000mm以下の場合は、横棧同等で可とします。(45mm幅以上の棧で、ビス留付間隔455(500)mm以下)

長さが1000mmを超える場合は、通常の補助棧と同様の留付方法および間隔としてください。

(※右図は胴縁が間柱への留め付けとなる場合)



※外張り断熱工法の施工基準に掲載されていない事項については、モエン標準施工法に準拠してください。